

# 50周年に向けてさらに飛躍

連盟では、24年度も「緑の甲子園」や「全国中学校・高等学校選抜ゴルフマッチプレー選手権大会」などの主催競技をはじめ、多くの連盟選手派遣競技を継続して開催してまいりました。今回は、24年度後半の連盟活動と、25年度の活動予定を報告します。



## 「理解とご支援のおかげ

一般社団法人 日本高等学校ゴルフ連盟  
 〒532-0011 大阪市淀川区  
 島6-2-3チサンマン  
 〒532-0011 大阪市淀川区  
 島6-2-3チサンマン  
 電話 06(6379)3582  
 取材協力 報知新聞大阪本社  
 2025年(令和7年) 新春号 機関紙

2025年、謹んで新春のお慶びを申し上げます。おかげさまで当連盟は昨年、創立45周年を迎えることができました。これもひとえに皆さま方のご理解とご支援のおかげと深く感謝しております。そして今年からは50周年に向けて、さらに飛躍するための準備期間としてスタートを切ります。

24年度の連盟の活動も緑の甲子園をはじめ主要大会を無事に終了することができました。春高、春中を支援いただいております三木市様、

私は、ゴルフ界がひとつにまとまるのがジュニアゴルフの増加につながる方策だと考えております。現在ゴルフ界にはプロアマ、ジュニア、ゴルフ場や用品関係など数多くの団体が存在しています。各団体の得意分野を生かして連携することが大切だと感じております。

プロはアマやジュニアの手本(憧れる存在)となり、指導をする。アマやジュニアは、教

マッチプレー共催のI.P.S.S様、緑の甲子園協賛のSKY株式会社様、連盟代表選手をサポートいただきありがとうございます。E.C.C様をはじめ、多くの企業の皆さまのご支援に対し、重ねて感謝申し上げます。

今年「緑の甲子園個人戦」を日本ゴルフ協会の「日本ジュニアゴルフ選手権」との共同催成技に変更し、連盟創設以来の「フォア・ザ・チーム」の教育理念を大切にすべく、緑の甲子園は団体戦として充実させて、ジュニアゴルフを取り巻く環境は残念ながら人口の伸び悩みもあり、今後はゴルフ人口の減少が必ずやってくると言われております。そんな状況を打破するには中長期的な人口増加施策が急務です。

また連盟では、4年前に姉妹団体の一般社団法人ジュニアゴルフクラブチーム連盟を設立しました。この先、中学校の部活動が地域移行されることになり、それを見越してゴルフ部に属さないU15(15歳以下)のジュニアゴルフファア、ゴルフの楽しさを伝え、社会のコミュニケーションツールとしてのゴルフの魅力を広める活動をしてまいります。

今後はジュニアスポーツが多様目型になり、生涯スポーツとして4世代が楽しめるゴルフは、その選択肢のひとつに十分なり得ます。5年後の50周年を見据え、連盟では関係各団体との「緑」を大切にし、初心者でも気軽にゴルフを始められる環境作りを力を入れていきます。(一)

また連盟では、4年前に姉妹団体の一般社団法人ジュニアゴルフクラブチーム連盟を設立しました。この先、中学校の部活動が地域移行されることになり、それを見越してゴルフ部に属さないU15(15歳以下)のジュニアゴルフファア、ゴルフの楽しさを伝え、社会のコミュニケーションツールとしてのゴルフの魅力を広める活動をしてまいります。

また連盟では、4年前に姉妹団体の一般社団法人ジュニアゴルフクラブチーム連盟を設立しました。この先、中学校の部活動が地域移行されることになり、それを見越してゴルフ部に属さないU15(15歳以下)のジュニアゴルフファア、ゴルフの楽しさを伝え、社会のコミュニケーションツールとしてのゴルフの魅力を広める活動をしてまいります。

また連盟では、4年前に姉妹団体の一般社団法人ジュニアゴルフクラブチーム連盟を設立しました。この先、中学校の部活動が地域移行されることになり、それを見越してゴルフ部に属さないU15(15歳以下)のジュニアゴルフファア、ゴルフの楽しさを伝え、社会のコミュニケーションツールとしてのゴルフの魅力を広める活動をしてまいります。

# 「緑を大切に

プロはアマやジュニアの手本(憧れる存在)となり、指導をする。アマやジュニアは、教

プロはアマやジュニアの手本(憧れる存在)となり、指導をする。アマやジュニアは、教

プロはアマやジュニアの手本(憧れる存在)となり、指導をする。アマやジュニアは、教

プロはアマやジュニアの手本(憧れる存在)となり、指導をする。アマやジュニアは、教

プロはアマやジュニアの手本(憧れる存在)となり、指導をする。アマやジュニアは、教

プロはアマやジュニアの手本(憧れる存在)となり、指導をする。アマやジュニアは、教

Sky Presents 2024年度 全国高等学校ゴルフ選手権大会

私たちは緑の甲子園を応援

Sky PGM

部科学大臣旗争奪 第45回 団体の部 文部科学大臣杯争奪 第68回 個人の部

日本高等学校・中学校ゴルフ連盟			
北海道高等学校・中学校ゴルフ連盟 札幌光星高等学校(小野地) ☎011-711-7161	東北高等学校・中学校ゴルフ連盟 十和田工業高等学校(甲地) ☎0176-23-6178	関東高等学校・中学校ゴルフ連盟 事務局(高木・黒澤) ☎050-1808-2704	中部高等学校・中学校ゴルフ連盟 高校:藤澤城設高等学校(望月)   中学:愛工大名電高等学校(沼田) ☎0572-66-3111 ☎052-721-0311
関西高等学校・中学校ゴルフ連盟 大阪学院大学高等学校(前川) ☎06-6381-6661	中国高等学校・中学校ゴルフ連盟 広陵高等学校(里) ☎082-848-1321	四国高等学校・中学校ゴルフ連盟 事務局 ☎080-7856-8684	九州沖縄高等学校・中学校ゴルフ連盟 冲学園高等学校(進) ☎092-431-1868



# 初出場校が熱戦繰り広げた 東大阪大柏原9位



創部34年目にして全国大会初出場を果たした東大阪大柏原高【左下】中学女子部の岡山学芸館清秀は創部1年目で初出場を果たした

## 東9アンダー

今大会には多くの初出場校が熱戦を繰り広げた。高校男子の部では東大阪大柏原高（大阪）が創部34年目にして悲願の初出場。9位と入賞に一步及ばなかったが、キャプテンの今村史央（3年）は「チームの東到矢が9アンダーと頑張っていたが、自分自身はトラブルに見舞われ、思い通りのプレーができなかった」と初陣を振り返った。

また、中学女子の部に出場した創部1年目の岡山学芸館清秀（岡山）は、初めての全国大会を持ち前のチームワークの良さを武器に6位で終え大健闘した。主将の川崎は「来年は1年生に入部してもらいたい」と、後輩を連れて全国の舞台に戻ってくることを誓った。



Sky Presents 全国中学校ゴルフ選手権大会 文部科学大臣賞 第32回 男子団体の部 文部科学大臣賞 第17回 女子団体の部

初出場校  
▽高校男子 八戸光星（青森）、東大阪大柏原（大阪）  
▽高校女子 八戸光星（青森）、浜松学芸（静岡）、金沢学院大付（石川）、ルネサンス豊田（愛知）  
▽中学男子 土佐塾（高知）、麗澤（茨城）  
▽中学女子 岡山学芸館清秀（岡山）、東海大仰星（大阪）



## 滝川第二初V

中学団体戦男子の部は滝川第二（兵庫）と日章学園（宮崎）が5オーバーの同スコアで並ぶ大接戦となったが、大会規定により滝川第二が初V。日章学園の5連覇を阻止した。同女子も埼玉栄が初優勝。2位の日章学園に15打差の大差で連覇を阻んだ。

## 中学団体戦男女

同女子は、埼玉栄が日章学園の5連覇を阻止した。主将の西本は「皆が頑張ってくれた。全員が MVPです」と全員で勝ち取った初優勝に笑顔がはじけた。「来年は2連覇を目指して頑張りたい」と後輩にエールを送った。

## 高校女子団体の部

順位	名前	前	学年	合計	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	総計
1	大塚桐	大阪	204	105	99	31	34	34	34	133
2	ルネサンス大阪	大阪	207	108	99	31	33	33	32	133
3	生光学園	徳島	207	107	100	33	35	33	33	134
4	エナジック	沖縄	207	106	101	33	34	33	33	133
5	沖学園	福岡	208	105	103	33	34	33	33	133
6	奈良育英	奈良	208	108	100	34	34	34	33	135
7	ウェルシア	茨城	209	105	104	34	34	34	33	135
8	埼玉栄	埼玉	210	105	105	34	34	34	33	135
9	日章学園	宮崎	210	103	107	35	35	35	33	138
10	共立女子第二	東京	210	104	106	34	34	34	34	136
11	中部大第一	愛知	211	106	105	35	34	34	33	136
12	ECC学園	滋賀	211	103	108	34	34	34	33	135

順位	学校名	都道府県	合計	I	R	F
1	滝川第二	兵庫	331	113	20	218
2	日章学園	宮崎	347	117	20	229
3	埼玉栄	埼玉	348	113	23	232
4	東海大仰星	大阪	348	118	26	238
5	岡山学芸館清秀	岡山	348	118	26	238

## 埼玉栄も初戴冠



中学団体女子は埼玉栄が優勝【上】中学団体男子を制した滝川二中



Sky Presents 全国高等学校・中学校ゴルフ選手権

大阪桐蔭初 V 千葉黎明



Sky Presents 2024年度 全国高等学校ゴルフ選手権大会

文部科学大臣杯争奪 第45回 団体の部 文部科学大臣杯争奪 第68回 個人の部

高校男子団体の部

(※スコアは上位3人の2日間合計 ※同スコアの場合は4人目のスコアで決定)

Table with 12 columns: Rank, Name, School, Year, Total Score, etc. Lists top teams like 千葉黎明, 大阪桐蔭, 日章学園, etc.

高校女子初制覇した大阪桐蔭

Table with 12 columns: Rank, Name, School, Year, Total Score, etc. Lists top teams like 大阪桐蔭, 日章学園, 聖光学院, etc.

高校男子で初優勝した千葉黎明と、高校女子を初制覇した大阪桐蔭

緑の甲子園と呼ばれている中高校生ゴルフの全国大会「全国高等学校・中学校ゴルフ選手権」が昨年、栃木県のサンヒルズCC、ピーターズICVパークコースで行われた。団体戦を昨年8月5日から2日間、8日から2日間は個人戦を実施。中高生ゴルフが日本一を目指して熱い戦いが繰り広げられた。



亀井鳥居が選手宣誓

出場校を代表して亀井幹大(大阪学院大高3年)と鳥居さくら(滝川第二高3年)が選手宣誓一写真。「いつも支えてくださっている先生方、監督、コーチ、関係者の方々、そして家族に感謝を忘れずに、正々堂々と戦います」と、力強く宣言した。

1年生メンバー活躍!! のぞんだ大阪桐蔭(大阪)が、2日間合計12アンダーをマーク。初日4位から逆転で悲願の初Vを達成した。3年生としてサポートメンバーに加わった元山優里は「1日頃から勢いのあるチーム。やってくれようと思ってました」とくに南田(いりな)が、最終日に2アンダーと頑張ってくれたと思えます。選手として出場できなかったのは悔しかったです。最後に大阪桐蔭が優勝できて良かった」と涙ぐみながら後輩の偉業をたたえた。

安定意識で11アンダー 前大会3位のリベンジ

高校の部は、初日が雷雨の影響で9ホールの短縮競技となり、最終日に残り9ホールを行う2日間18ホールでの決勝となった。男子は、興国と並び初日首位発進を決めた千葉黎明(千葉)が2日間合計11ナ

ンダーで逃げ切り、初優勝した。前大会も初日首位に立つも3位と惜敗。キャプテンの中嶋太我(3年)は、「2日目落ちる年は攻めすぎずに安定したゴルフを心がけた」と、慎重なゴルフで興国を振り切り、見事リベンジを果たした。同女子は、3連覇を狙う

日章学園(宮崎)と、初優勝に挑むECC学園(滋賀)が初日5アンダーで首位に立ったが、エース・岩永杏奈を筆頭に、オール1年生というフレッシュな編成で

3年生としてサポートメンバーに加わった元山優里は「1日頃から勢いのあるチーム。やってくれようと思ってました」とくに南田(いりな)が、最終日に2アンダーと頑張ってくれたと思えます。選手として出場できなかったのは悔しかったです。最後に大阪桐蔭が優勝できて良かった」と涙ぐみながら後輩の偉業をたたえた。







# ISPSハンダ 全国中学校・高等学校選抜ゴルフマッチプレー選手権大会

# 外岩戸 全国2冠



## ISPS ハンダ 令和6年度(第8回) 全国中学校・高等学校選抜ゴルフマッチプレー選手権大会

【主催】一般社団法人日本高等学校・中学校ゴルフ連盟、一般社団法人国際スポーツ振興協会 (ISPS)  
 【後援】沖縄県、名彦市、(公財)日本ゴルフ協会、(一社)沖縄県ゴルフ協会、朝知新聞社、テイリースポーツ  
 琉球新報社、沖縄タイムス社、沖縄県高等学校・中学校ゴルフ連盟  
 【協賛】ブリヂストンスポーツ株式会社、株式会社高橋社、株式会社ジャパンエニックス  
 【協力】カヌチャリゾート カヌチャベイホテル&ヴィラス カヌチャゴルフコース、エナジックゴルフアカデミー

# 吉崎が中縄に初優勝杯

### ISPSハンダ 高等学校選抜ゴルフマッチプレー



に出せた」と、持ち前のショットの精度と得意のパッティングがさえた。同郷の大先輩・宮里藍にあこがれる高校2年生は、「25歳でプロテスト通過、そして20歳で米国ツアーに参戦したい。そのためにもオフにフィジカルを鍛えます」と、先を見据えた。

### ISPSハンダ 第8回全国中学校・高等学校選抜ゴルフマッチプレー選手権大会

男子は春の全国大会覇者の外岩戸晟士(ほかいわと・せいじ)、代々木高2年が呉屋陽星(えなじックス・ポーツ高1年)を4アンド3で下し、全国大会2冠を達成した。「アイアンショットには自信がある」というショットメーカーは「中縄の特有の強風に、独特の芝質。5回戦したが、耐えるゴルフに耐えました」と、最終我慢のゴルフを展開。「グリーンを読むなどは具屋さんに地元の利があったが、得意のショットでアドバンテージが取れたのが勝因」と、決勝戦を振り返った。「次は春高連覇。そして日本アマで優勝したい」と、さらなる飛躍を誓った。

### 宮里藍に憧れる

毎年、中縄で行われているマッチプレー全国大会の決勝戦。女子の部で吉崎マリーナ(中縄カトリック高2年)が、同じ中縄県出身の新垣くらら(エナジックス・ポーツ高2年)を6アンド5で破り、中縄県に初の優勝杯をもたらした。「1回戦から自分の持ち味を存分に

### 全国マッチプレーに出場した選手(右下)優勝した外岩戸と吉崎マリーナ

に出せた」と、持ち前のショットの精度と得意のパッティングがさえた。同郷の大先輩・宮里藍にあこがれる高校2年生は、「25歳でプロテスト通過、そして20歳で米国ツアーに参戦したい。そのためにもオフにフィジカルを鍛えます」と、先を見据えた。

- 男子の部 ①外岩戸晟士(代々木高2年) ②呉屋陽星(エナジックス・ポーツ高1年) ③橋本拓英(三重高3年) ④中本旺希(広島県瀬戸内高2年)
- 女子の部 ①吉崎マリーナ(中縄カトリック高2年) ②新垣くらら(エナジックス・ポーツ高2年) ③根田うの(立命館慶祥高1年) ④長澤愛羅(ルネサンス高2年)



### ISPSハンダ 高等学校選抜チャレンジマッチプレー



また中学の部は佐久里ゾートゴルフ倶楽部で昨年8月16日から2日間行われ、男子は下ノ堀功太(鹿児島市立清水中2年)が島田泰生入(伊勢崎市立四ツ葉学園中3年)を19目で、また同女子は、萩原すみみ(本庄第一中3年)が高山さらら(神戸市立西代中3年)を4アンド2で下してそれぞれ優勝。各上位2人が全国大会へ進出した。

### 高校原田丸尾 女子下ノ堀 女子萩原が全国切符

男子は春の全国大会覇者の外岩戸晟士(ほかいわと・せいじ)、代々木高2年が呉屋陽星(えなじックス・ポーツ高1年)を4アンド3で下し、全国大会2冠を達成した。「アイアンショットには自信がある」というショットメーカーは「中縄の特有の強風に、独特の芝質。5回戦したが、耐えるゴルフに耐えました」と、最終我慢のゴルフを展開。「グリーンを読むなどは具屋さんに地元の利があったが、得意のショットでアドバンテージが取れたのが勝因」と、決勝戦を振り返った。「次は春高連覇。そして日本アマで優勝したい」と、さらなる飛躍を誓った。

### 吉崎逃げ切り

また中学の部は佐久里ゾートゴルフ倶楽部で昨年8月16日から2日間行われ、男子は下ノ堀功太(鹿児島市立清水中2年)が島田泰生入(伊勢崎市立四ツ葉学園中3年)を19目で、また同女子は、萩原すみみ(本庄第一中3年)が高山さらら(神戸市立西代中3年)を4アンド2で下してそれぞれ優勝。各上位2人が全国大会へ進出した。

男子小川18位 女子仲村11位 タイ「ジュニアオレシジボウ」ルゴルフチャンピオンシップ2024が1月3日56日まで、米岡・Bitmore Golf Courseで行われ、昨年8月の緑の甲子園個人戦高校の部で優勝した小川峻太郎(大阪学院大高1年)と、仲村梓(エナジックス・ポーツ高2年)が連盟代表選手として出場した。写真。小川は初日69(2アンダ1)と上々の滑り出したが、2日目には74、3日目72、最終日74と、289のスコアで18位でフィニッシュ。一方、仲村は初日から3日間は74、最終日は71とまとめたが、293ストロークで11位タイで終えた。



また中学の部は佐久里ゾートゴルフ倶楽部で昨年8月16日から2日間行われ、男子は下ノ堀功太(鹿児島市立清水中2年)が島田泰生入(伊勢崎市立四ツ葉学園中3年)を19目で、また同女子は、萩原すみみ(本庄第一中3年)が高山さらら(神戸市立西代中3年)を4アンド2で下してそれぞれ優勝。各上位2人が全国大会へ進出した。

男子中山 女子岩永が出場権 報知新聞社と共催のマッチプレー戦が昨年11月11日、三重・津市のココパリアートクラブ白山ゴルフレンジで行われた。昨年8月に開催されたスポート報知ジュニアゴルフ選手権関東大会、同西日本大会の上位者8人によるマッチプレー戦。男女優勝者には「ISPSハンダ」全国中学校・高等学校選抜ゴルフマッチプレー選手権大会への出場権が付与された。男子は中山大生(千葉黎明高2年)、女子は岩永梨花(尼崎市立塚口中1年)がそれぞれ優勝した。1回戦で満川陽大(浪速中2年)と対戦した中山は「マッチプレーは初めて。スコアに関係なく、緊張します」と、特有の芝に苦戦しながらも、5

また中学の部は佐久里ゾートゴルフ倶楽部で昨年8月16日から2日間行われ、男子は下ノ堀功太(鹿児島市立清水中2年)が島田泰生入(伊勢崎市立四ツ葉学園中3年)を19目で、また同女子は、萩原すみみ(本庄第一中3年)が高山さらら(神戸市立西代中3年)を4アンド2で下してそれぞれ優勝。各上位2人が全国大会へ進出した。







# ECC花房社長「語学力も大切にしてほしい」

# 大切なのは人間力

「ゴルフを通じて青少年の人間教育を」を理念に掲げている一般社団法人日本高等学校・中学校ゴルフ連盟（以下高ゴ連）を、応援しているのが、英会話を中心とした総合教育・生涯学習機関「ECC」。今回、同社の代表取締役社長を務める花房雅博氏(70)に活動内容を聞いてみた。

## 連盟理念に賛同

ECCは、1962年にECC外語学院として創業。「語学教育をもって世界平和に貢献する」を基本理念に掲げ、英会話を中心に、語学教育にとどまらない様々な学習機会を提供する生涯学習機関として世界に展開するグローバル企業だ。

連盟との出会いは約6年前。同社が2018年に創立した通信制高校「ECC学園高等学校」（現在は学校法人として独立）のスーパーアスリートコースにゴルフを創設したことがきっかけ。「ゴルフ部の林大監督が、高ゴ連の井上理事長の教え子だった縁から、「ゴルフを通じて青少年の



# ジュニアを応援

# 世界へ羽ばたく

人間教育を」という連盟の理念に賛同したのが始まりです。数々の競技会に出場経験がある花房社長だが、「アマチュアの競技ゴルフの30年ぐらいは、ゴルフのことは考えていない。私には、ゴルフの上達とともに人間力をつけることも大切だと思っています」と自身の持論と一致したことで、

次代を担うジュニアゴルフの理念に賛同したのが始まりです。現在は連盟の賛助会員に名前を連ねると同時に、「世界へ羽ばたく準備を応援したい」と、毎年春と秋に行われている強化合宿兼連盟代表選考会を支援。海外派遣選手には「ルールの認識や選手間のコミュニケーションなど、海外で活躍するために英語は必要不可欠」とも語っている。

「合宿に参加した選手は、必ず手紙を送ってくださいます。全員の手紙に必ず目を通していますが、感謝の気持ちがとても伝わってきます。応援したい気持ちがあります。今後ジュニアの感謝の気持ちにこたえていきたい」と、エールを送った。



「世界へ羽ばたくジュニアを応援したい」と語った(株)ECC花房社長

【株式会社ECC】1962年ECC外語学院として創業。現在は「ECCジュニア」をはじめとする幼時からジュニア世代まで、それぞれの目的を実現する独自のカリキュラムや教材を導入している総合教育・生涯学習機関。また近年では、訪日外国人に向けた日本語教育も行うなど、語学を通じて、次代に合った「真の国際人」としての人材を育成している。

【建学の理念】 本学は外国語教授を通じて、近代的なセンスと国際的な感覚を持った社会に实际的に活躍できる有用な人材を育成しようとするものである。以って国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。

英語の壁は高い。また同社には、世界に挑戦しようとするプロゴルファーからも語学サポートの依頼も多い。「英語の壁はなかなか高いですが、ゴルフを大切にしよう、語学力も大切にしてほしい。社会人としての基礎を身につけてもらいたい」と、エールを送った。

## ゴルフを通じて青少年の人間教育を。




# 3月開幕 春高ゴルフ展望占う

前回大会の入賞選手前列左から4人目が左同5人目が外岩戸



2023年度 全国高等学校ゴルフ選手権春季大会  
文部科学大臣杯争奪 第44回 個人の部

## 女子注目筆頭は岩永

## 男子の外岩戸連覇なるか



チェリーヒルズゴルフクラブ

三木ゴルフ倶楽部

オリムピックゴルフ倶楽部

### 名門3コースで激戦繰り広げる

激戦の舞台となるのは、オリムピックゴルフ倶楽部、チェリーヒルズゴルフクラブ、三木ゴルフ倶楽部の三木市内屈指の名門コース。なかでも高校女子の会場となるチェリーヒルズGCは、過去に日本女子プロゴルフ選手権を開催し、今年は女子メジャー「日本女

子オープン」が開催される戦略性豊かなコース。また高校男子は、関西オープンなど幾多の競技が行われた本格派チャンピオンコースのオリムピックGCが舞台。そして昨年ACN選手権が行われ、今年も継続開催が決定している三木GCでは、中学男女が熱い戦いを繰り広げる。

春高・春中ゴルフの愛称でおなじみの個人戦全国大会「全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会」は、3月19日から3日間、兵庫・三木市内の3コースで行われる。特別取材班では、昨年の大会を振り返るとともに、今回の展望を占ってみた。

**王者はプロツアー活躍選手が多い!!**

前回大会、高校男子は外岩戸晟士（ほかいわど・せいじ）が3日間首位を守りきる完全優勝を飾った。同女子は左奈々が最終ホールまでもつれ込む激戦を制した。また、同時に行われた「中学校ゴルフ選手権」は、岡田健太郎と伊藤せあらがそれぞれ頂点に立った。

実は春高の覇者はプロツアーでも活躍している選手が多い。安田祐香プロ（2017年）、岩井明愛プロ（2018年）、川崎春花（2022年）など、現在の男女ツアーで優勝経験がある選手が歴代優勝者に名前を連ねている。

小川や仲村などの実力者がズラリ並ぶ

今年の注目目は外岩戸だ。昨年は春高に続いて、11月の全国マツチプレーオフでも制し、全国大会で2冠を達成。昨年完全優勝を果たした相性の良いオリムピックGCなら連覇も夢ではないだろう。女子の注目筆頭は大坂桐蔭高1年の岩永杏奈。昨年の緑の甲子園団体戦ではチームをけん引。同校を悲願の初優勝に導く活躍を見た。また女子ツアーでもローアマに輝くなど、着実に力を付けている。そのほか昨年の緑の甲子園個人戦覇者の小川統太郎（大阪学院大高1年）と、仲村梓（エナジックススポーツ高2年）の夏春連覇にも注目したい。

【2025年度主催・共催競技スケジュール】		
大会名	開催日	場所
日本ジュニアゴルフ選手権競技	8月20日～22日	霞ヶ関CC、東京GC
全国高等学校チャレンジマッチプレー選手権	8月19日～21日	サンコーCC
全国中学校チャレンジマッチプレー選手権	8月20日～21日	佐久リゾートGC
全国高等学校ゴルフ選手権	8月27日～29日	サンヒルズCC
全国中学校ゴルフ選手権	8月27日～28日	ビートタイGCVIPコース
PGAジュニアゴルフ選手権	未定	太平洋クラブ益子PGAコース
スポーツ報知ジュニアゴルフ選手権決勝マッチプレー戦	11月（予定）	未定
全国中学校・高等学校選抜ゴルフマッチプレー選手権	11月26日～28日	カヌチャゴルフコース
全国高等学校ゴルフ選手権春季大会	26年 3月18日～20日	オリムピックGC チェリーヒルズGC
全国中学校ゴルフ選手権春季大会	同	三木GC

【2025年度派遣競技スケジュール】		
大会名	開催日	場所
第4回THE ROYAL JUNIOR	4月18日～20日	ザ・ロイヤルGC
2025トヨタジュニアゴルフワールドカップ	6月24日～27日	中京GC石野コース
アジアジュニアゴルフチームチャンピオンシップ	未定（9月）	韓国・グンサンCC
ジュニアオレンジボウルゴルフチャンピオンシップ	20年1月3日～6日	サンヒルズCC
第25回日韓対抗中学・高校生ゴルフ選手権	未定（26年・3月）	韓国・グンサンCC

### 日韓対抗中学・高校生ゴルフ選手権 男子がV2に挑む

24年度最後の派遣競技となる「第24回日韓対抗中学・高校生ゴルフ選手権2024」は、3月24日から3日間、奈良・KOMAカントリークラブで

開催される。日本チームは、連盟代表選手男女各4人及び、選抜された中学生男女各2人で編成。男子は昨年に続き優勝を目指す。また惜敗した女子は、昨年のベストプレーヤーの長澤愛羅（ルネサンス高2年）を中心にリベンジに挑む。

【第24回日韓対抗中学・高校生選手権出場選手】			
選手名	都道府県	学校名	年次
武田	徳島県	生光高等学校	2
長崎	徳島県	日章高等学校	2
岡村	徳島県	日章高等学校	2
宇田	徳島県	日章高等学校	2
宇田	徳島県	日章高等学校	2
宇田	徳島県	日章高等学校	2
長澤	兵庫県	ルネサンス高等学校	2
中嶋	兵庫県	作陽高等学校	2
水田	兵庫県	作陽高等学校	2
吉崎	兵庫県	作陽高等学校	2
道上	兵庫県	瀧川第二中学校	2
白川	兵庫県	北名古島市立熊野中学校	2
福田	兵庫県	福美町立福美中学校	2
本村	兵庫県	宝塚市立宝塚中学校	2

今春の文部科学大臣杯は誰の手に。いよいよ3月、プロへの登竜門にもなっている春高ゴルフが開幕する。（特別取材班）